

平成 29 年第 1 回定例会

富良野市議会会議録（第 3 号）

平成 29 年 3 月 1 日（水曜日）

平成 29 年第 1 回定例会

富 良 野 市 議 会 会 議 録

平成 29 年 3 月 1 日 (水曜日) 午前 10 時 01 分開議

◎議事日程 (第 3 号)

日程第 1	議案第 10 号	平成 28 年度富良野市一般会計補正予算 (第 12 号)
	議案第 17 号	富良野市ふるさと応援基金条例の制定について
日程第 2	議案第 11 号	平成 28 年度富良野市国民健康保険特別会計補正予算 (第 2 号)
日程第 3	議案第 12 号	平成 28 年度富良野市介護保険特別会計補正予算 (第 2 号)
日程第 4	議案第 13 号	平成 28 年度富良野市公共下水道事業特別会計補正予算 (第 4 号)
日程第 5	議案第 14 号	平成 28 年度富良野市簡易水道事業特別会計補正予算 (第 2 号)
日程第 6	議案第 15 号	平成 28 年度富良野市水道事業会計補正予算 (第 3 号)

◎出席議員 (18 名)

議 長	18 番	北 猛 俊 君	副議長	8 番	天 日 公 子 君
	1 番	大 栗 民 江 君		2 番	宇 治 則 幸 君
	3 番	石 上 孝 雄 君		4 番	萩 原 弘 之 君
	5 番	岡 野 孝 則 君		6 番	今 利 一 君
	7 番	岡 本 俊 君		9 番	日 里 雅 至 君
	10 番	佐 藤 秀 靖 君		11 番	水 間 健 太 君
	12 番	関 野 常 勝 君		13 番	渋 谷 正 文 君
	14 番	後 藤 英 知 夫 君		15 番	本 間 敏 行 君
	16 番	広 瀬 寛 人 君		17 番	黒 岩 岳 雄 君

◎欠席議員 (0 名)

◎説 明 員

市 長	能 登 芳 昭 君	副 市 長	石 井 隆 君
総 務 部 長	若 杉 勝 博 君	市 民 生 活 部 長	長 沢 和 之 君
保 健 福 祉 部 長	鎌 田 忠 男 君	経 済 部 長	原 正 明 君
建 設 水 道 部 長	吉 田 育 夫 君	看 護 専 門 学 校 長	澤 田 貴 美 子 君
総 務 課 長	高 田 賢 司 君	財 政 課 長	柿 本 敦 史 君
企 画 振 興 課 長	西 野 成 紀 君		

教育委員会教育長 近 内 栄 一 君

農業委員会会長 東 谷 正 君

公平委員会委員長 中 島 英 明 君

選挙管理委員会委員長 堀 川 眞 理 君

農業委員会事務局長 佐 藤 正 義 君

監査委員事務局長 高 田 敦 子 君

公平委員会事務局長 高 田 敦 子 君

選挙管理委員会事務局長 大 内 康 宏 君

◎事務局出席職員

事務局 長 川 崎 隆 一 君

書 記 澤 田 圭 一 君

書 記 今 井 顕 一 君

書 記 倉 本 隆 司 君

午前10時01分 開議
(出席議員数18名)

開 議 宣 告

○議長(北猛俊君) これより、本日の会議を開きます。

会議録署名議員の指名

○議長(北猛俊君) 本日の会議録署名議員には、
今 利 一 君
渋谷 正文 君
を御指名申し上げます。

諸 般 の 報 告

○議長(北猛俊君) この際、諸般の報告をいたします。
2月28日会議終了後、予算特別委員会が開かれ、委員長に萩原弘之君、副委員長に今利一君が互選された旨報告がありました。
以上で、諸般の報告を終わります。

日程第1

議案第10号 平成28年度富良野市一般会補正予算(第12号)
議案第17号 富良野市ふるさと応援基金条例の制定について

○議長(北猛俊君) 日程第1、議案第10号、平成28年度富良野市一般会計補正予算及び関連する議案第17号、富良野市ふるさと応援基金条例の制定についてを一括議題といたします。

これより、本件2件の質疑を、順次、行います。

初めに、議案第17号、富良野市ふるさと応援基金条例の制定についての質疑を行います。

質疑ございませんか。

13番渋谷正文君。

○13番(渋谷正文君) それでは、質問させていただきます。

新規条例ですので、聞く回数が多くなるかと思えます。4点ほどございますが、よろしく願いいたします。

まず、第1条のところにあります設置の内容でございます。

活力あるふるさとづくりの推進に資するということがありますけれども、この文章は非常に範囲が広がっております。私は、何を指すのか、具体的には読み取れなかったところがありますので、詳しくお知らせいただきたいと思えます。

2点目です。

第2条ですが、寄附金は一般会計において定めるとあるのですが、この文章をそのままとりますと、一旦、寄附金は一般会計に入りまして、その後、寄附された全額を基金に繰り入れるのか、また、経費等もかかると思えますので、そうしたお金の流れについてお知らせいただきたいと思えます。

3点目です。

第6条ですけれども、寄附金を基金に積んだ後、どのように処分、事業化されるのかというところがはっきりしないと思えます。基金は、いつ、どのようにお使いになるのか。このどのようにというのは、新規事業等といったような前向きな事業なのか、また、従来の事業なのか、そうしたところの基本的な考え方をお知らせいただきたいと思えます。

4点目です。

今回、寄附金を基金として創設するのですが、これはふるさと納税の受け皿となっておりますが、ふるさと納税はまちの事業や趣旨に賛同した方にしているというふうに思えます。寄附者にとって、みずから行った寄附金がどのように使われたのかを実感することは、この後、富良野とつながりができることであり、また、寄附金につながることも想定されるかと思えます。こうしたところも鑑みますと、毎年、ホームページ等で公表するなど用途の明確化が必要かと思えますが、その対応についてお伺いいたします。

○議長(北猛俊君) 御答弁願います。

総務部長若杉勝博君。

○総務部長(若杉勝博君) 渋谷議員の御質問にお答えいたします。

まず、1点目、第1条の活力あるふるさとづくりの推進が何を指すのかということでございます。

こちらにつきましては、幅広い方をしておりますけれども、いま、私どもが考えておりますのは、ふるさと納税そのものは4分野で寄附を募っております。教育、農林業、医療・介護・福祉、それから、市長に使い道を委ねるという形です。それで、その部分を総称した形で、ふるさとづくりという表現をさせていただきました。

次に、第2条のお金の流れでございます。

12月から始めまして、いま、5,000万円を超えている状況ですけれども、今回の補正で歳入として2,000万円を計上させていただいております。歳出で、それに見合う2,000万円を積み立てると。年度末で整理をさせていただきますが、そのときには、例えば、平成28年度の額が確定してまいります。その時点で、返礼品にかかる必要経費を除いた額を最終的に専決という形で基金に積み立てさせていただきます。

そして、3点目ですけれども、その後の第6条処分ということで、その積み立てたものは、今回の新年度には特定財源として充てておりませんが、その後、補正あるいは平成30年度の新年度予算という中で、教育、農林業、福祉、介護といったものに特定財源として充てていくというお金の流れになります。

納税者に対するPR、公表も、議員がおっしゃるように、どう使ったかということは、私どもは寄附を受ける立場で非常に重要な要素だと思っておりますので、農業ではこうしたことに使わせていただきました、あるいは、教育ではということで、これは予算審議の結果が出た段階でホームページで公表していくという考えを持っております。

以上であります。

○議長（北猛俊君） 続いて、質問ございますか。

13番渋谷正文君。

○13番（渋谷正文君） 今度はまとめてお聞きしたいと思えます。

いま、第2条のほうで、寄附金は、一旦、一般会計に入り、歳入で受けて、その後は積み立てすると。その積み立てをするというところは、経費を差し引いた全額ということではよろしいのか、1点確認します。

なぜかといいますと、実は活力あるふるさとづくりの推進に資するというので、4分野で募っているとお話をいただいたのですが、基金というのは基本的に特定の目的を示して積むものであり、そして、処分をするものであると地方自治法に書かれております。現在の運用の仕方では、特定の目的というところがしっかりとなされていないのではないかと、このように思えます。ですので、条例と、そして、その後、要綱等が出てくるのかもしれませんが、そうしたところの一連の流れがはっきりとしないと、その特定の目的には至らないのではないかと、このように思っております。見解を伺いたいと思えます。

それと、公表についてでありますけれども、いま御説明いただいたのですが、使う目的、このように使いましたということはお知らせするというのであります。こちらについては、金額についても同様に明示されるのかどうか、お伺いします。

○議長（北猛俊君） 御答弁願います。

総務部長若杉勝博君。

○総務部長（若杉勝博君） 渋谷議員の再質問にお答えをいたします。

まず、積み立てる額につきましては、返礼品等にかかる必要経費を差し引いた全額ということではあります。

それから、基金の目的でございますが、今回のふるさと応援基金というものは、あくまでふるさと納税の受け皿としてつくらせていただく。通常、一般寄附金、教

育寄附金、社会福祉寄附金、地域づくり推進基金等々、寄附者の意思が明確なものは、基金をもって特定の目的に用途を限っておりますけれども、これはあくまでふるさと納税の受け皿ということで、幅広いですが、活力あるふるさとづくりに使わせていただくということであり

ます。それから、公表につきましては、使った事業名称、そして、総経費、その中でふるさと納税でいただいた額というものを明示した形での公表になっていく考えであります。

○議長（北猛俊君） 13番渋谷正文君。

○13番（渋谷正文君） いまの説明を聞くと、私は、寄附者の気持ちに寄り添えば、こうした目的、基金の適正な管理、処分というのをはっきりと示されることが正しい手法なのかなというふうに思っております。ですので、この基金というのは、四つの内容について含まれております。こういう使い方をしたいということであるかと思えます。これをそのまま基金の残高として出すと、この四つの細かい項目について、どのようになっているのかが非常にわかりづらいというふうに思えます。こうしたところの残高の公表についてもどのような対応をされるのか、お伺いしたいと思います。

○議長（北猛俊君） 御答弁願います。

総務部長若杉勝博君。

○総務部長（若杉勝博君） ふるさと納税でいただいた寄附額総額も表示していきますし、そのうち、幾らその事業に充てたかは分野別でも公表していきます。ただ、平成28年度で締めて、それを29年度で全部使うという考え方ではなくて、これは積み重なってきますから、当該年度で納税者の意思に沿うものに充てていくと、そして、分野別と、総額幾らの中で幾らを使わせていただきましたという形の公表を考えております。

○議長（北猛俊君） そのほか、質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（北猛俊君） ないようですので、次に、議案第10号、平成28年度富良野市一般会計補正予算について質疑を行います。

質疑は、予算第1条の歳出より行います。

事項別明細書、26ページ、27ページをお開きください。

1款議会費、2款総務費、26ページ、27ページより30ページ、31ページ上段までを行います。

質疑ございませんか。

17番黒岩岳雄君。

○17番（黒岩岳雄君） 26ページ、27ページの2款総務費1項総務管理費7目自治振興費の180番をお尋ねしたいと思います。

地域おこし協力隊派遣事業費ですが、残念ながら10月末に隊員の方がやめられたということで、これは報酬分

の減額だと思います。

それと、あわせて、委員費用弁償及び旅費が当初予算から比べると1万9,000円ほどしか使われていなく、また、下段の建物借上料も当初予算のまま減額ということです。当初からいろいろ事業をやるということでしたが、事業自体がきちんと当初の目的どおり達成できたのか、隊員をやめられたこともあるのですけれども、その辺をこの減額にあわせてお尋ねしたいと思います。

○議長（北猛俊君） 御答弁願います。

総務部長若杉勝博君。

○総務部長（若杉勝博君） 黒岩議員の御質問にお答えいたします。

27ページ、180番、地域おこし協力隊派遣事業費でございます。

まず、報酬の部分につきましては、いま黒岩議員が御指摘のとおり、山部の協力隊員の退職に伴うもの、それから、委員費用弁償及び旅費につきましても、これは研修を予定しておりましたけれども、その減額でございます。

それから、建物借上料の減額につきましては、平成28年度に新たな隊員を迎える予定をしておりまして、家賃借上げということで84万円を予定しておりましたけれども、新たに配置した隊員の方は、住居費用は要らないということで、その減額であります。ですから、山部の途中退職に伴う減額は、この上の報酬、旅費という部分でございます。

事業の進捗あるいは目標、目的という中では、山部の隊員は、自分の人生という中での選択をされましたけれども、いま、FMふらの、東山地域のほうでそれぞれ御活躍をされております。これは3年後に富良野に移り住むことが第1の目的と思っておりますので、まだ先の話になりますけれども、いま、それぞれの立場で、東山でいけばフォトコンテスト、あるいはFMふらのでいけばパーソナリティーとして御活躍をされているということで、効果が出ているものと考えております。

○議長（北猛俊君） 17番黒岩岳雄君。

○17番（黒岩岳雄君） 山部地域としては特に困ってないという理解でよろしいのでしょうか。

○議長（北猛俊君） 御答弁願います。

総務部長若杉勝博君。

○総務部長（若杉勝博君） 山部地域としてどうなのかということでもありますけれども、そちらはなかなかお答えしづらい部分もあります。いずれにしても、3年間で、平成28年度もお勤めいただくということでやっておりまして、残念なことではあると思っております。

また、山部につきましては、いま新たな形の地域おこしを考えていらっしゃるというお話も伺っておりますので、またそちらの支援をしてみたいと考えていると

ころであります。

○議長（北猛俊君） よろしいですか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

○議長（北猛俊君） そのほか、質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（北猛俊君） ないようですので、次に移ります。

3款民生費、30ページ、31ページより34ページ、35ページまでを行います。

質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（北猛俊君） ないようですので、次に移ります。

4款衛生費から8款土木費まで、36ページ、37ページより40ページ、41ページ下段までを行います。

質疑ございませんか。

6番今利一君。

○6番（今利一君） それでは、36ページ、37ページの4款1項7目看護専門学校費の100番、学校運営経費の減額部分であります。

講師の方が2名から1名に減ったと聞いておりますが、なぜこのようになったのか、もう一点、これは学生のカリキュラムに影響していないのかどうかという部分についてお聞きしたいと思います。

○議長（北猛俊君） 御答弁願います。

看護専門学校長澤田貴美子君。

○看護専門学校長（澤田貴美子君） 今議員の質問にお答えいたします。

質問内容は、なぜ減額になったかということとカリキュラムに影響がなかったかですけれども、4月から実習の指導者の補助ということで嘱託講師を探しておりましたが、なかなか人材が得られなかったということで9月から採用になりましたので、減額になったという経過があります。その間につきましては、教員間、それから、現在いる嘱託の講師で協力体制をとりながら、カリキュラムには影響がないように工夫、努力してまいりました。

以上でございます。

○議長（北猛俊君） よろしいですか。

6番今利一君。

○6番（今利一君） いずれにせよ、学生に聞いてみなければわからない部分というのはたくさんあるのだろうと思うのですけれども、どういうふうな格好で、どういうふうな人だったのか。実習講師を探していたということですが、それで足りるようなことであつたのか。いまの教員の中で足りることだったのであれば、そのような格好ですればよかつたのだろうというふうに思いますけれども、その辺に関しての見解はいかがでしょうか。

○議長（北猛俊君） 質問内容確認のため、暫時休憩いたします。

午前10時20分 休憩
午前10時23分 開議

○議長（北猛俊君） 休憩前に引き続き、会議を開きません。

休憩前の今利一君の質問に御答弁願います。

看護専門学校長澤田貴美子君。

○看護専門学校長（澤田貴美子君） 今議員の再質問にお答えいたします。

昨年4月から教員講習会に1名の教員が出ておりましたので4月以降は1欠の状況で、教員も努力をして、それから、臨床の実習指導者の方にも大変協力をいただきながら、4月から9月までは人材が得られない中で、協力体制をとりながら努力をしてまいりました。9月になりまして1名確保できたところで、さらに臨床の教員が協力体制をとりながら、学生に支障がないようにカリキュラムを運営してまいりました。

以上でございます。

○議長（北猛俊君） よろしいですか。

（「了解」と呼ぶ者あり）

○議長（北猛俊君） そのほか、質疑ございませんか。

14番後藤英知夫君。

○14番（後藤英知夫君） 36ページ、37ページ、4款1項1目の180番、地域センター病院産婦人科医師確保対策補助金とあります。

この1,567万6,000円でございますけれども、5市町村で案分したという説明を受けていますが、これらの詳細について御説明願いたいと思います。

○議長（北猛俊君） 御答弁願います。

保健福祉部長鎌田忠男君。

○保健福祉部長（鎌田忠男君） 後藤議員の4款1項1目、180番、地域センター病院産婦人科医師確保対策補助金の概要の御質問でございますので、この補助金の内容について説明をさせていただきます。

この補助金につきましては、昨年4月より地域センター病院である協会病院の産婦人科常勤医師が1名退職し、常勤医師が2名から1名の体制となったところでございます。地域センター病院におきましては、産科の分娩体制を維持するため、北大の産婦人科医局WINDと旭川厚生病院から医師の派遣を受け、常に分娩ができる体制を維持する対応をしてきたところでございます。

今回の補助金につきましては、医師の確保をする上で、常勤医師については、地域センター病院である協会病院が負担し、支援といたしましては、常勤医師を派遣いただく部分に対する経費の補助、助成を行うこととしたところでございます。

補助の内容につきましては、平成28年度は出張医に係る経費に5,254万円がかかる予定となっております、こ

の部分に対して病院として診療に係る収入等の額を引きまして残る費用、総額2,431万9,000円を沿線で補助するというので、沿線の富良野圏域連携協議会の中で確認をさせていただきました。

また、負担金の負担のあり方でございますが、こちらにつきましては、5市町村の居住者で協会病院の産婦人科外来にかかっている患者数、平成25年度から27年度までの3年間の平均をもって負担率を決めて、それぞれの市町村が負担をすることとしたところであります。全体といたしましては、患者数3万1,179名に対しまして、富良野市では3年間で2万97名の利用がありますので、負担率64.46%ということで、富良野市の負担を先ほどの総額2,431万9,000円のうち、1,567万6,000円にしたところでございます。

以上でございます。

○議長（北猛俊君） よろしいですか。

14番後藤英知夫君。

○14番（後藤英知夫君） 十分理解できなかつたかもしれません。

今回の補助というの、単年度分という捉え方でよろしいのでしょうか、それとも、継続的にかかってくるお金という捉え方でよろしいのでしょうか。

○議長（北猛俊君） 御答弁願います。

保健福祉部長鎌田忠男君。

○保健福祉部長（鎌田忠男君） 後藤議員の再質問にお答えいたします。

この地域センター病院の産婦人科の医療体制につきましては、今後も医師確保に向けて取り組みをしていくところでございますが、今回の助成につきましては、まずは平成28年度の実情に鑑みたく、5市町村での助成ということで行っているところでございます。したがって、29年度以降につきましては、また今後の協議となっております。

以上でございます。

○議長（北猛俊君） よろしいですか。

（「了解」と呼ぶ者あり）

○議長（北猛俊君） そのほか、質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（北猛俊君） ないようですので、次に移ります。

9款教育費から13款災害復旧費まで、40ページ、41ページより46ページ、47ページまでを行います。

質疑ございませんか。

17番黒岩岳雄君。

○17番（黒岩岳雄君） 42ページ、43ページの9款教育費1項教育総務費4目育英事業費、100番についてお尋ねいたします。

私の聞いたところだと、この減額は、大学の学費補助で5名の予定が3名に、また、入学金の補助も10名が

2名になったと聞いていますが、少なくなった原因は、内容的に使い勝手が悪いのか、逆に言えば、お金があるからもう借りないということなのか、その辺の状況がわかれば教えていただきたいと思います。

○議長（北猛俊君） 御答弁願います。

教育委員会学校教育課長稲葉武則君。

○教育委員会学校教育課長（稲葉武則君） 黒岩議員の御質問にお答えします。

教育費の育英事業費の関係でございます。

貸付金の減額ですけれども、減額の理由については、先ほど黒岩議員がおっしゃったとおりでございます、貸付者が少なかったというのが原因であります。

ただ、少なかった原因につきましては、いろいろな部分がありまして、ほかの貸付金を使っているのもありますし、昔でいう日本育英会を使っている方もいっぱいありますので、そちらに流れたというふうに理解をしています。ただ、借りなかった方たちの理由を把握していませんので、今後、調査させていただきたいというふうに思っています。

以上でございます。

○議長（北猛俊君） よろしいですか。

17番黒岩岳雄君。

○17番（黒岩岳雄君） この育英基金貸付金のそもそもの原点というのは、最終的には学校を卒業して地元に戻ってきていただいたら返さなくていいと。いま地元の人口をふやそうということもいろいろと考えているわけですから、こういうものに余り応募がなければ、将来的なまちの全体計画にも影響するのではないかという心配があるのですが、その辺についてどう考えているか、お尋ねします。

○議長（北猛俊君） 御答弁願います。

教育委員会学校教育課長稲葉武則君。

○教育委員会学校教育課長（稲葉武則君） 黒岩議員の再質問にお答えします。

黒岩議員がおっしゃるように、地元に戻ってきた方に関しては償還猶予という制度がございますので、その部分を十分生かせるように周知徹底を深めていきたいというふうに思っております。

以上でございます。

○議長（北猛俊君） よろしいですか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

○議長（北猛俊君） そのほか、質疑ございませんか。

2番宇治則幸君。

○2番（宇治則幸君） 同じく、9款教育費2項小学校費2目教育振興費並びに3項中学校費2目教育振興費のそれぞれの就学援助費が多少減額というか、残っているようですけれども、この内容について説明をお願いいたします。

○議長（北猛俊君） 御答弁願います。

教育委員会学校教育課長稲葉武則君。

○教育委員会学校教育課長（稲葉武則君） 宇治議員の御質問にお答えします。

小学校費の教育振興費の就学援助費の減額分、あわせて中学校費の就学援助費の減額分という内容の説明だと思えます。

今回につきましては、対象者というよりも、例えば、行事等による給食の喫食数の減とか、入学準備金またはスキー購入費の対象学年が積算より少なかったことに伴う減額でございます。

以上でございます。

○議長（北猛俊君） 2番宇治則幸君。

○2番（宇治則幸君） いまの説明は、多分、私が持っているデータと同じようなもので、人数については余り変更がなくて、その中で給食が少なかったとか、必要となるお金の出方が少なくて済んだとか、そういう解釈でよろしいですか。

○議長（北猛俊君） 御答弁願います。

教育委員会学校教育課長稲葉武則君。

○教育委員会学校教育課長（稲葉武則君） 宇治議員の再質問にお答えいたします。

宇治議員がおっしゃるように、人数よりも単価、量の変化ということでございます。

○議長（北猛俊君） よろしいですか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

○議長（北猛俊君） そのほか、質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（北猛俊君） ないようですので、以上で歳出を終わります。

次に、歳入及び予算第2条第2表繰越明許費補正、第3条第3表地方債補正を行います。

6ページ、7ページから8ページ、9ページまで及び14ページ、15ページから24ページ、25ページまでを行います。

質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（北猛俊君） ないようですので、以上で議案第10号の質疑を終わります。

討論を省略いたします。

お諮りいたします。

本件2件に御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（北猛俊君） 御異議なしと認めます。

よって、本件2件は、原案のとおり可決されました。

日程第2

議案第11号 平成28年度富良野市国民健康保険

特別会計補正予算（第2号）

○議長（北猛俊君） 日程第2、議案第11号、平成28年度富良野市国民健康保険特別会計補正予算を議題といたします。

これより、本件の質疑を行います。
質疑は、本件全体について行います。
質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（北猛俊君） ないようですので、以上で本件の質疑を終わります。

討論を省略いたします。
お諮りいたします。

本件に御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（北猛俊君） 御異議なしと認めます。
よって、本件は、原案のとおり可決されました。

日程第3

議案第12号 平成28年度富良野市介護保険特別会計補正予算（第2号）

○議長（北猛俊君） 日程第3、議案第12号、平成28年度富良野市介護保険特別会計補正予算を議題といたします。

これより、本件の質疑を行います。
質疑は、本件全体について行います。
質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（北猛俊君） ないようですので、本件の質疑を終わります。

討論を省略いたします。
お諮りいたします。

本件に御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（北猛俊君） 御異議なしと認めます。
よって、本件は、原案のとおり可決されました。

日程第4

議案第13号 平成28年度富良野市公共下水道事業特別会計補正予算（第4号）

○議長（北猛俊君） 日程第4、議案第13号、平成28年度富良野市公共下水道事業特別会計補正予算を議題といたします。

これより、本件の質疑を行います。
質疑は、本件全体について行います。
質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（北猛俊君） ないようですので、以上で本件の質疑を終わります。

討論を省略いたします。

お諮りいたします。

本件に御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（北猛俊君） 御異議なしと認めます。
よって、本件は、原案のとおり可決されました。

日程第5

議案第14号 平成28年度富良野市簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）

○議長（北猛俊君） 日程第5、議案第14号、平成28年度富良野市簡易水道事業特別会計補正予算を議題といたします。

これより、本件の質疑を行います。
質疑は、本件全体について行います。
質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（北猛俊君） ないようですので、以上で本件の質疑を終わります。

討論を省略いたします。

お諮りいたします。

本件に御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（北猛俊君） 御異議なしと認めます。
よって、本件は、原案のとおり可決されました。

日程第6

議案第15号 平成28年度富良野市水道事業会計補正予算（第3号）

○議長（北猛俊君） 日程第6、議案第15号、平成28年度富良野市水道事業会計補正予算を議題といたします。

これより、本件の質疑を行います。
質疑は、本件全体について行います。
質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（北猛俊君） ないようですので、以上で本件の質疑を終わります。

討論を省略いたします。

お諮りいたします。

本件に御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（北猛俊君） 御異議なしと認めます。
よって、本件は、原案のとおり可決されました。

散 会 宣 告

○議長（北猛俊君） 以上で、本日の日程は終了いたしました。

明2日、3日は議案調査のため、4日、5日は休日のため、休会であります。

6日の議事日程は、当日配付いたします。

本日は、これをもって散会いたします。

午前10時38分 散会

上記会議の記録に相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成29年 3月 1日

議 長 北 猛 俊

署名議員 今 利 一

署名議員 洪 谷 正 文